

会長	支部長	幹事長	役
3			

平成30年度

日本将棋連盟「支部連合会会長・幹事支部支部長会議」

支部連合会

- 日時 平成31年1月20日(日) 14:00~
- 会場 「都市センターホテル」
606会議室 ※懇親会 601会議室
- 出席者 支部連合会・幹事支部代表者 45名
棋道師範 11名
- 出席役員 佐藤 康光会長 / 森内 俊之専務理事 /
脇 謙二常務理事 / 鈴木 大介常務理事 /
- 出席地域普及推進棋士 真田 圭一八段 / 大野八^{かい坊}一雄七段 /
- 出席職員 普及免状部 部長 磯辺^{いしべ} 文敏 /
普及課 課長代理 富田 哲也(関西本部) /
課長代理 木村 洋子 /
係長 千葉 光洋 /
新川^{しんかわ} 千佳(関西本部) /
宮川 彩乃 /
学校教育課 参与 小田切 優子 / 特別顧問 中野吉明 /

~本日のスケジュール~

- 14:00 開会
挨拶
議長指名
役員・棋士・事務局紹介
- 14:15 会議開始
- 16:45 事務局よりのお知らせ
- 16:50 閉会

— 懇親会(17:00~18:30) —

平成 30 年度

日本将棋連盟「支部連合会会長・幹事支部支部長会議」次第

進行簿
記

● 開 会

● 日本将棋連盟会長挨拶 佐藤会長

● 日本将棋連盟出席者紹介 司会司野介

● 議長指名 新潟県会長 奥州光治 14.10

● 議 事

(1) 普及方針に関する説明説明 (佐藤康光会長) ✓
※上記事項に関する質疑応答

(2) 主要普及政策に関する説明 (森内俊之専務理事) ✓
※上記事項に関する質疑応答

(3) 東京本部普及事業報告 (鈴木大介常務理事) ✓
※上記事項に関する質疑応答

(4) 関西普及事業説明 15.50 (脇 謙二常務理事) ✓ 体協
※上記事項に関する質疑応答

(5) 質疑応答
※(1)～(4)以外に関する質疑応答

(6) その他 事務局よりのお知らせ

● 閉 会

平成30年度 日本将棋連盟「支部連合会会長・幹事支部支部張会議」出席者一覧

都道府県	連合会・支部名	役職名	出席者氏名	都道府県	連合会・支部名・棋道師範	役職名	出席者氏名
北海道	北海道支部連合会	会長	工藤 学	大阪	大阪府支部連合会	会長	北川 茂
青森	青森県支部連合会	会長	北島 悟	兵庫	兵庫県支部連合会	会長	内藤 秀彰
岩手	岩手県支部連合会	会長	細川 正士	和歌山	和歌山県支部連合会	会長	神出 直治
宮城	宮城県支部連合会	会長	梅原 克彦	島根	島根県支部連合会	理事	鶴原 俊雄
山形	山形県支部連合会	会長	大泉 義美	岡山	岡山県支部連合会	常務理事	北村 実
福島	福島県支部連合会	会長	武蔵 正憲	広島	広島県支部連合会	会長	蔵田 秀雄
茨城	茨城県支部連合会	幹事長	枝 和夫	山口	山口県支部連合会	会長	栗田 勲
栃木	栃木県支部連合会	会長	西岡 潤	徳島	徳島県支部連合会	幹事長	近藤 圭一
栃木	栃木県支部連合会	幹事長	藍葉 大輔	愛媛	愛媛県支部連盟	事務局長	児島 有一郎
群馬	群馬県支部連合会	会長	北浦 基治	愛媛	愛媛県支部総本部	理事	竹本 修治
埼玉	埼玉県支部連合会	会長	小島 一宏	福岡	福岡県支部連合会	理事長	下平 雅之
千葉	千葉県支部連合会	会長	丸谷 勝	佐賀	佐賀県支部連合会	会長	棕露地 淳市
千葉	千葉県支部連合会	幹事長兼事務局長	吉田 友哉	熊本	熊本県支部連合会	会長	古橋 徹
東京	東京都支部連合会	会長	小針 俊郎	大分	大分中央支部	幹事長	七蔵司 仁紀
東京	東京都支部連合会	副会長	北 昌宏	鹿児島	鹿児島支部	支部長	香西 一雄
神奈川	神奈川県支部連合会	会長	長嶋 義輝	鹿児島	鹿児島支部	理事	四本 正志
山梨	山梨県支部連合会	幹事長	新堀 亨	沖縄	沖縄県支部連合会	会長	宮城 政則
長野	長野県支部連合会	会長	湯浅 正樹	群馬	棋道師範		井上 侃
新潟	新潟県支部連合会	会長	奥州 光治	東京	棋道師範		本田 昇
石川	石川県支部連合会	事務局長	三角 憲正	東京	棋道師範		小川 良治
岐阜	岐阜県支部連合会	会長	久保田 豊	愛知	棋道師範		小田 賢一
静岡	静岡県支部連合会	会長	青島 篤男	愛知	棋道師範		鬼頭 孝生
愛知	愛知県支部連合会	会長	山中 利夫	愛知	棋道師範		小林 壯行
愛知	愛知県支部連合会	幹事長	竹河 伊知郎	愛知	棋道師範		黒田 耕榮
愛知	東海普及連合会	事務局長	中山 則男	愛知	棋道師範		神田 和徳
滋賀	滋賀県支部連合会	会長	細川 努	愛知	棋道師範		熊谷 春海
滋賀	滋賀県支部連合会	会計監査	野口 晴大	京都	棋道師範		小野 巖
京都	京都府支部連合会	会長	廣田 長己	京都	棋道師範		清水 忠治

◇普及に係る方針について
伊藤会長より説明

3

平成31年度に向けた日本将棋連盟の「普及に係る方針」は次のとおりでございます。
短～中～長期目標として取り組んでまいりたいと考えておりますので、支部連合会会長・支部長・将棋普及指導員各位におかれましては、ご理解・ご協力をお願い申し上げます。

(1) 小・中学校将棋団体戦／小学生将棋名人戦都道府県大会の活性化

- ・両事業は次世代育成の根幹を成す事業です。小・中学校将棋団体戦は「ヒューリック株式会社様」、小学生将棋名人戦は「株式会社さなる様」が協賛社となり、開催にご理解を頂いております。協賛社から継続的な理解・協力を得るためには都道府県大会の活性化が肝要な点は言うまでもありません。
- ・文部科学大臣杯第14回小・中学校将棋団体戦及び第43回小学生名人戦の各都道府県大会の参加者数は過去最高となりました。ご尽力いただいた運営者の皆様方に厚く御礼申し上げます。今後ご検討をお願いしたい点は、代表選考の部以外に実施部門を設けていない地域は、参加者増を図るため予選大会において代表選考の部以外(例：級位者や初心者クラス)の設置・実施でございます。
- ・連盟では、増加支援策として支部連合会のある地域の文部科学大臣杯小・中学校将棋団体戦と小学生名人戦の都道府県予選会には、連盟負担で審判・指導対局担当棋士を派遣いたしておりますので活性化のために是非ご申請下さい。

(2) テーブルマークこども大会の参加者増

- ・JT、テーブルマーク株式会社様協賛の「テーブルマークこども大会」は関係各位のご尽力により、参加者数が2年連続で1万1,500人を突破しました。今後も気を緩めることも無く参加者増を目指します。引き続き参加者への周知をよろしくお願い申し上げます。

①愛知の清原氏等が
具体的にどういった
鈴木(伊藤)が答える。

(3) 各種大会の更なる発展

- ・昨年、「女流アマ名人戦」は半世紀となる50回の記念開催となりましたが、本年度40回目を迎える「全国中学生選抜選手権大会」やファーストロジック社協賛の「ファーストロジック杯全国オール学生将棋選手権戦」はじめ他多くの学生大会、アマ棋戦、支部大会、団体戦等各種将棋大会の更なる参加者増、発展に邁進したいと思っておりますので、引き続きのご協力をよろしくお願いいたします。

④神奈川県長嶋会よりホーミングの増加
⑤茨城県支部長
会費増加には経費の負担。おおりに12月
今はホーミングで増える。

②愛知県の竹河氏
普及の予算はどのくらいか。
③普及指導員の負担を少くする
他項
女の負担は。

(4) (5) (6)
森内専務より説明

(4) 将棋普及指導員について

- ・平成 30 年度将棋普及指導員申請では、制度発足以来初となる 100 名を越える申請があり 105 名が新たに資格を取得されました。

昨今の将棋ブームにより、公民館・児童館・カルチャースクール等より新規将棋教室開設や講師派遣について多くの要望・お問合わせを頂いております。

また、学校教育への派遣についても、更なる前進を考えております。

皆様のご理解ご協力により全国で 949 名が登録するまでに至りましたが、現状では全国的に指導者不足は明らかです。

これからも将棋普及指導員増を継続方針とします。

<目標>

- ・短期 全都道府県で将棋普及指導員の配置（不在県：福井・熊本）
- ・5 ヶ年 毎年資格取得者 100 名以上
- ・10 ヶ年 将棋普及指導員数 2000 名

平成 31 年度も全国 6 ヶ所での将棋普及指導員試験会場を設けましたので、申請について引き続きご協力をお願い申し上げます。

(5) 支部・支部連合会設置の促進 ※参考資料①-1 をご参照ください

- ・普及活動の拠点支部であり、支部活動の活性化が普及活動の根幹を成すことは言うまでもありません。

支部の設立、支部会員の増加に引き続きご理解ご協力をお願い申し上げます。

<目標>

- ・支部数 800 支部 ※H31.1 月現在 675 支部
- ・支部会員数 20,000 人 ※H31.1 月現在 17,160 人
- ・これまでも支部連合会の設置についてお願いを申し上げましたが、今後も全都道府県に設置することを継続目標とします。

※未設置の地域 福井・鳥取・奈良・鹿児島・愛媛・大分

(6) 学校教育への将棋の導入

- ・次世代育成の取り組みとして最重点項目としているのが学校教育現場への将棋の導入です。学校教育課では目下首都圏を中心に学校への講師派遣を行なっておりますが、この動きを全国的規模に発展させるためには、予算獲得や指導者不足等の課題が伴います。

そこで本方針を堅持するために、スポンサーの獲得、学校での予算確保のお願い等、地道に拡大の方向を目指すことを方針としていきます。

宮城県将棋会より
学校の普及について
行政主導の実施はどうか

(7) (8) 案内事務説明

(7) 平成 31 年度伝統文化親子教室事業

- ・文化庁補助事業「伝統文化親子教室事業」は 6 年目に入りました。まもなく平成 31 年度事業採択について審査の段階になると思われます。応募にご協力いただきました支部・指導員の皆様に感謝申し上げます。今後も引き続きよろしくお願い申し上げます。

(8) 地方公共団体との連携

- ・昨年、姫路市において実施しました「将棋文化振興自治体 全国将棋サミット 2018」は盛会の内に終了いたしました。地方自治体との連携強化を目指しまして、次年度は名古屋市において実施します。

平成 31 年 1 月 20 日

公益社団法人日本将棋連盟

広島県 蔵田会長

中学校長 経験者 (中はいい / 小技可能)

文化検定の向題

ガイドブックをのこす 2冊あり
あすほうにしたい

栃本県 西岡会長

ごとのためにどうですか

参考資料①-1 支部・指導員に関する資料

支部会員数推移

(単位/人)

	正会員	女・学生	特別	個人	合計
平成27年度	12,014	3843	85	780	16,722
平成28年度	11,817	3904	80	766	16,567
平成29年度	11,840	4576	76	731	17,223
平成30年度	11,856	4548	72	684	17,160

※1月15日現在

100名支部数推移

(単位/支部)

	100名支部	200名支部	300名支部
平成27年度	21	2	
平成28年度	22	3	
平成29年度	18	5	
平成30年度	16	4	1

※1月15日現在

棋士派遣数

(単位/連合会・支部・団体)

	文科杯	小学生名人	伝統文化
平成28年度	26	27	48
平成29年度	25	7	51
平成30年度	26	受付中	55

群馬県 北浦会長より指導員の状況
指導員のバリエーション(男子棋士、女子棋士)
認識に乏しい。

山口県 栗田会長より
全国の道場(クラブ)とのかつ
たのかしら? (栗田)
ホウキ-シメシメ合持ない?
どうにか、次は30世代
(栗田)

参考資料 ①-2 支部・指導員に関する資料

地域別にみる将棋普及指導員数

※ () の数は女性の指導員数

・ 北海道・東北地方

	北海道	青森県	岩手県	秋田県	宮城県	山形県	福島県	計
棋道師範	1					1		2
棋道指導員	2	2	2	2	3	2	2(1)	15(1)
将棋指導員	43(1)	5	5	2	5	16	12	88(1)
計	46(1)	7	7	4	8	19	14(1)	105(2)

・ 関東地方

	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川	計
棋道師範	1	1	1	1		2	1	7
棋道指導員	3	1	3	3	1	4	3(2)	18(2)
将棋指導員	11	10	6	54(2)	30	85(6)	52(3)	248(11)
計	15	12	10	58(2)	31	91(6)	56(5)	273(13)

・ 甲信越・北陸地方・東海地方

	山梨県	長野県	新潟県	富山県	石川県	福井県	静岡県	岐阜県	愛知県	三重県	計
棋道師範			1				1		11	1	14
棋道指導員	2	3	1		1		2	6	19	5	39
将棋指導員	6	5	25(1)	4	1		9	18	133(3)	9	210(4)
計	8	8	27(1)	4	2	0	12	24	163(3)	15	263(4)

・ 近畿地方

	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山	計
棋道師範		3	1	1			5
棋道指導員	1	7	2	1(1)		3	14(1)
将棋指導員	8	33(4)	52(2)	48(4)	7	4(1)	152(8)
計	9	43(4)	55(2)	50(5)	7	7(1)	171(9)

・ 中国・四国地方

	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	計
棋道師範		1	1			1				3
棋道指導員			3	2			1	1		7
将棋指導員	2	5	24	8	2	9	1	1	11	63
計	2	6	28	10	2	10	2	2	11	73

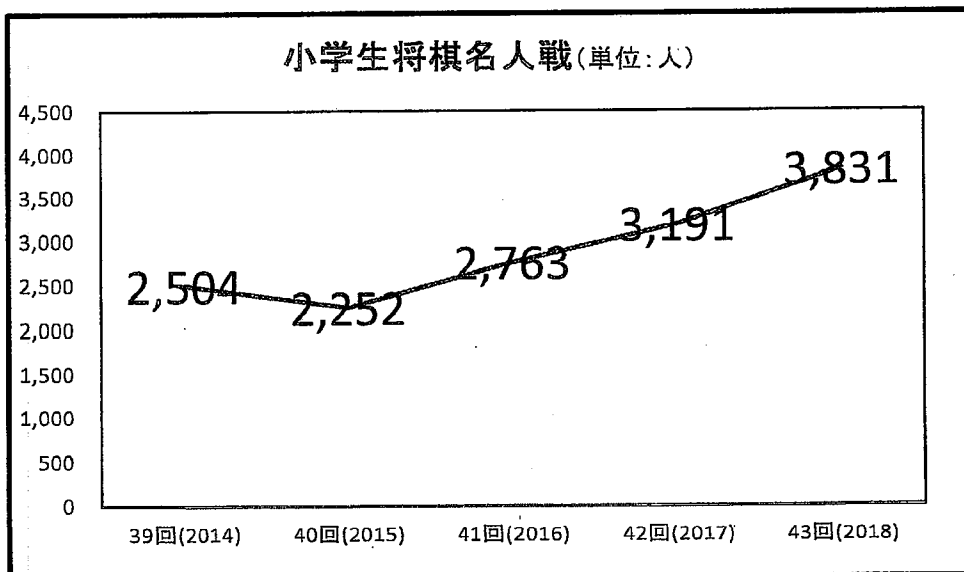
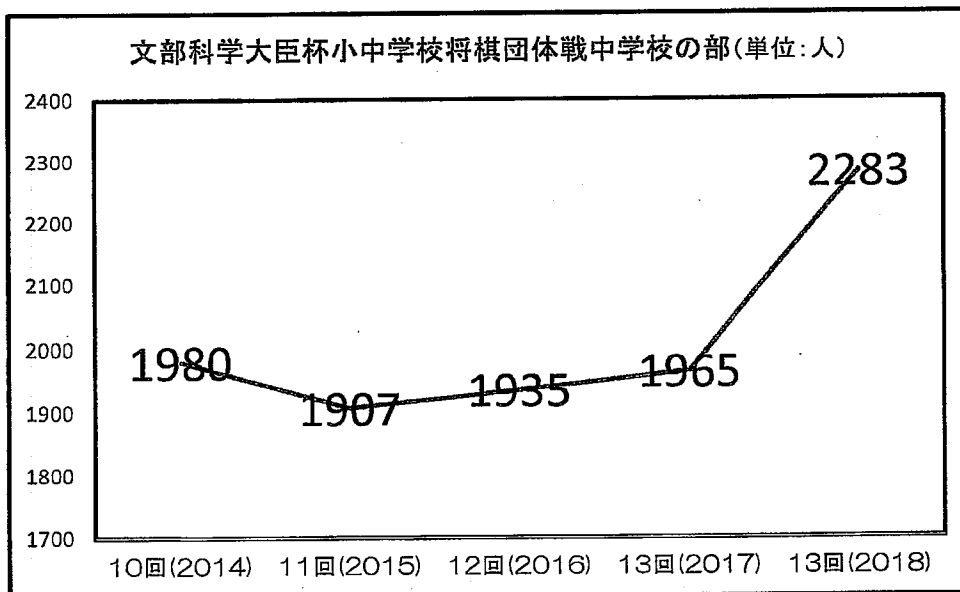
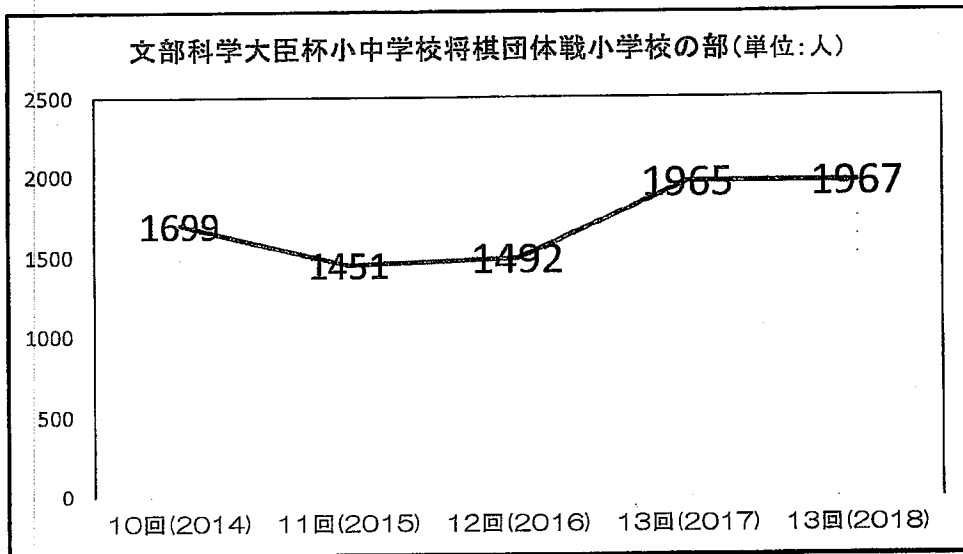
・ 九州・沖縄地方

	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島	沖縄県	計	海外
棋道師範										
棋道指導員	4		1						5	
将棋指導員	33	1	5	1	4(1)	3	1	3	51(1)	4
計	37	1	6	1	4(1)	3	1	3	56(1)	4

2016年度指導員数：836名(棋道師範19名、棋道指導員81名、普及指導員736名)

2017年度指導員数：866名(棋道師範22名、棋道指導員90名、普及指導員754名)

参考資料② 文部科学大臣杯・小学生名人戦 参加者数の推移



和歌山県神谷町
主催と教員会に
して欲しいか

鬼頭節
① 学校より
② 新聞の発表
③ 将棋手帳に
大学の記録か
のせい
のせい
④ 棋士の会の発表
次回
実施して欲しいか
(何年か)

宮城県神谷町
和歌山杯の発表
加えて欲しいか

資料

第77期名人戦第4局全国一斉大盤解説会 概要

1. 事業名 第77期名人戦第4局全国一斉大盤解説会
2. 日程 2019年5月17日(金)～5月19日(日)を派遣期間とします。
※名人戦第4局2日目の日程は5月17日(金)。

3. 実施内容要点

(1)派遣期間を5月17日(金)～5月19日(日)とし、その期間内で1泊2日の行程で棋士派遣を行います。原則1日目は午前中に移動し、午後から活動を開始します。

(例)：5月 17日(金) 午前中移動後、14:00頃から解説会
18日(土) 10:00 支部道場にて指導対局
15:00～最寄り駅・空港より帰路へ

*5月18日(土)が宿泊となり、翌19日(日)に帰着とする1泊2日の予定でも結構です。

(2)解説時間は原則終局までですが、17日(金)のみ会場の都合その他により途中打ち切りの場合が生じても結構です。18日以降の実施であればその限りではございません。終局まで解説の程宜しくお願いします。

(3)参加費の有無(有料・無料)は現地にて設定願います。

(4)解説会実施日の翌日に支部や子ども教室で指導対局の予定を組んでいただいても結構です。また、現地入りの日に支部や子ども教室で指導対局を設定し翌日に解説会実施等とご自由に予定を組まれて構いません。(実施時間は、最大4～5時間程度でお願いします)その際のご予定も、実施計画書にご記入をお願いします。

(5)棋譜の入手方法は別記を参照願います。

(6)実施後は所定の報告書用紙に必要事項を記入の上返送願います。

4. 派遣手続要点

①派遣棋士の人選は東京本部または関西本部に一任とさせていただきます。

②実施団体に対して派遣棋士名を連絡します。東京本部または関西本部にて実施計画書に基づいたスケジュールの案内を派遣棋士に伝えます。

<関係資料提出期限に関して>

2月15日(金)：棋士派遣受け入れと解説会実施回答期限(ハガキ)

3月1日(金)：実施計画書提出期限(A4書類)

6月末日：報告書提出期限(A4書類)